

令和5年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1	中央図書館の来館利用
------	---	------------

重点課題	1 新型コロナウイルス感染症の動向に配慮した図書館利用の促進 2 館内各スペースの活用促進
------	--

具体的な取組内容	(課題1) ・新型コロナウイルス感染症の動向について、最新情報を収集・発信し、安全に図書館を利用できる環境を提供する。 ・ホームページ、X(旧ツイッター)、デジタルサイネージ等を活用して資料やサービスについてのPRを行う。 (課題2) ・ファブスペース開設後のワークスペースの新たな利用方法を決定し、運用を開始する。 ・ラウンジ、渡り廊下など現状では展示を行っていないスペースを含め、図書館全体を展示スペースとして活用する。
----------	---

担当係	図書サービス係
-----	---------

関連予算	一般奉仕事業
------	--------

量的指標 質的指標	【量的指標】 ・来館者数: 24万人 ・貸出冊数: 49万冊 ・ワークスペース利用数: 個人利用平均9人 団体利用10団体 (個人利用平均: 1日3回カウントした閲覧者数の1回平均 団体利用: 講演会や展示などで利用した図書館以外の団体)
--------------	--

令和5年度 結果 (見込み)		4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率
	中央図書館来館者	125,835人	20,973人	251,670人	104.9%
	中央図書館貸出数	228,243人	38,041人	456,486人	93.2%
	ワークスペース(個人)	9.9人	9.9人	9.9人	110%
	ワークスペース(団体)	10団体	2団体	14団体	140%

参考数値		令和3年度	令和4年度
	中央図書館来館者	195,710人	235,125人
	浦安市人口(4/1現在)	169,963人	169,259人
	実利用者数 (1回以上貸出を受けた市民)	33,922人	34,521人
	実利用率	20.0%	20.4%
	中央図書館貸出数	465,938冊	479,269冊
	ワークスペース(個人/団体)	6.7人/16団体	8.7人/11団体

<p>図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での感染症対策の取り組みについて、市・図書館ホームページ、館内ポスター等で周知を行った。 ・図書館の各フロアでの消毒体制の検討を行い変更した。 ・図書館ホームページ「図書館だより」で、中央図書館の施設やサービスについて、利用促進に焦点を当てた投稿を継続的に行った。 ・貸出冊数は減少見込みのため目標達成は難しいが、来館者数は増加しており、こちらは目標を達成する見込みである。資料の貸出しではなく、イベントの参加や閲覧席を利用する方の増加が伺われる。 ・ファブスペース開設後のワークスペースの新たな利用方法を検討し、運用開始の整備を進めた。 ・ワークスペースの利用数は、個人、団体共目標を達成する見込みである。 ・書庫棟の企画展示「非核平和パネル展示」に合わせ、同パネル、関連図書の展示を渡り廊下で行うなど、館内各スペースを有効活用し、利用につなげることができた。
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策は適切で、利用者の安心・安全を優先した取組を評価する。 ・来館者、利用者の達成率については、課題に対する具体的な取り組みが成果を上げていると評価できる。 ・来館者数の増加が、貸出に結びついていない点について、要因を深めて分析してもよいと考える。利用者の要因とコレクションの要因の観点などから分析ができるのではないかと。 ・イベントに重きをおき、貸出しサービスを超える図書館活動と位置付ける図書館も出ているようだが、これは本末転倒の考え方だと思う。 ・新しく開設される「ファブスペース」については、あくまでも資料提供を骨としつつ、その活用を考えていただきたい。まだまだ、全国的にも珍しい取組みになるかと思われる。 ・時節にあわせたタイムリーな企画展示をさまざまな場所で行ったことは、来館者に対する情報提供として有効であった。 ・ラウンジや渡り廊下での空きスペースを活用したタイムリーな展示の試みを評価する。 ・「広報うらやす」やフリーペーパーを活用して来館者を掘り起こすなど、メディア戦略を工夫してはどうか。 ・リクエストサービスに関して、待ち時間の短縮化の創意工夫を期待する。
<p>改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館来館者が安心して利用できるよう、引き続き感染症対策に留意し、安心、安全な環境を提供していく。 ・感染症の流行以前と比べ滞在型の利用が増加しているなど、利用傾向について分析し、さらなる利用に結び付ける方法を検討する。 ・資料の提供を根幹サービスとして継続していくなかで、ファブスペースなど施設の特徴を活かした利用を通じて、利用者同士が交流するにぎわいのある新たな図書館の利用方法を創出していく。 ・館内の様々なスペースを利用し、時節に合わせた展示を継続的に行う。 ・広報誌など各種メディアを利用した新規利用者層の掘り起こしについて検討する。 ・リクエストサービスの提供までの期間短縮については、可能な範囲で検討していきたい。

令和5年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	2	分館の来館利用
------	---	---------

重点課題	1 図書館サービスのPRと情報提供を通じた利用の促進 2 公民館、庁内各課等との連携
------	---

具体的な取組内容	(課題1) ・ホームページの「図書館だより」及びX(旧ツイッター)を活用した情報発信を行う。 ・テーマ展示を各館で毎月1回以上行い、図書館の利用促進を図る。 (課題2) ・公民館主催事業である平和パネル展等について、関連資料の展示や広報を行うことで事業への協力を進める。 ・公民館開催事業での絵本のよみきかせの依頼については、積極的に協力する。 ・国や地方公共団体が進める「食育月間」、「自殺予防週間」等に合わせた啓発展示に取り組み、図書館資料だけでなく、関係部署が作成したパンフレット類やポスターの配布、掲示を行い、図書館利用を促す。
----------	--

担当係	分館係
-----	-----

関連予算	図書館運営費
------	--------

量的指標 質的指標	【量的指標】 ・貸出利用者数: 30万人 ・貸出冊数: 84万冊 * 分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とする。 ・ホームページやX(旧ツイッター)を活用したPRの実施 (図書館だより: 毎月1回更新 X(旧ツイッター): 各分館で毎月1回以上ツイート) ・テーマ展示: 毎月1回
--------------	---

令和5年度 結果 (見込み)		4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率
	貸出利用者数(分館7館)	145,411人	24,235人	290,822人	96.9%
	貸出冊数(分館7館)	404,618冊	67,436冊	809,236冊	96.3%
	図書館だより(分館より)更新回数(分館7館)	6回	1回	12回	100%
	X(旧ツイッター)投稿回数(分館7館)	88回	15回	176回	210%

参考数値		令和3年度	令和4年度
	貸出利用者数(分館7館)	282,983人	289,411人
	貸出冊数(分館7館)	825,165冊	823,064冊
	図書館だより更新回数(分館7館)	12回	12回
	X(旧ツイッター)投稿回数(分館7館)	147件	167件

<p style="text-align: center;">図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数は令和4年度に引き続き減少傾向にある。要因として、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、市民がこれまで控えていた旅行やイベント等に参加する機会が増えたことによるものと推測される。 ・ホームページの「図書館だより」を毎月1回更新した。各分館が当番で自館を紹介し、PRを行った。 ・X(旧ツイッター)は各分館が毎月2回程度の投稿を行った。主に館内の展示について情報発信を行い、来館を促進することができた。 ・各館のテーマ展示はカウンターやブックトラックなどで「ミニ展示」を積極的に行った。所蔵資料の魅力を利用者に伝え、資料の貸出につなげることができた。 ・公民館主催事業である平和パネル展は、全分館で関連資料と図書リストの展示を行った。この他に公民館のサークルや講座に関連資料を提供し市民に貸出するなどの協力をした。講座の帰りに図書館に立ち寄るなど、公民館利用者の図書館利用につなげることができた。 ・様々な啓発展示に取り組んだ。関連図書の展示と合わせて、庁内の関係部署から取り寄せたパンフレット等も市民に提供し、市民への情報提供を充実させることができた。
<p style="text-align: center;">図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて10分以内に分館が有る。これは素晴らしい事である。各館特色が有り、内容が充実している。 ・公民館との連携は評価できる。行政の各部署や地域の団体と連携した企画も今後期待したい。 ・公民館主催事業との連携や啓発展示、庁内関連部署のパンフレット提供は、地域活性化の視点からも有効であった。 ・公民館へ来館した人が図書館分館にも足を運ぶよう工夫をしてほしい。 ・公民館は近所の子どもや若い世代が訪れやすい地理的利便性・気軽さがある。さらに館内には多彩な情報発信機能を有している。それらの利点を活かしたテーマ展示を実施してはどうか。アンケートを取るのも一つの方法である。 ・分館の来館者調査も実施してはどうか。来館者属性は各分館で異なると思われ、その属性に合わせて施策が行われるとよい。 ・テーマ展示に関連した書籍の展示や紹介により貸出数が増える効果を検証すべきである。 ・感染症拡大によって図書館を使うことの習慣が途切れたこと、特に子どもたちの図書館離れが進んでいるのではないかと。分館の存在を再度アピールし、利用拡大の再構築が必要である。
<p style="text-align: center;">改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等を通じて、各館の利用者や周辺地域の特性、蔵書の利用傾向などを分析し、その結果を展示のテーマや蔵書の構築など今後のサービスに活かしていく。 ・公民館主催事業や啓発展示などへの協力を通じて、引き続き公民館や庁内の関連部署との連携に取り組む。 ・公民館サークルや主催事業の参加者に向けて、サークルや事業についての関連資料の展示や図書館のPRを積極的に実施する。 ・周辺地域の園・学校へ出向いてのよみきかせ、分館内での「えほんのじかん」、読書通帳、集会事業などの取り組みを通じて、近隣の子どもたちの分館利用を促す。 ・テーマ展示の効果を測るために、展示資料の貸出状況など検証方法について検討をする。 ・今後も、展示等に工夫を凝らし、SNSやホームページの情報発信を通じて、各分館の特色を市民にPRする。

令和5年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	レファレンスサービス
重点課題	1 レファレンスサービスの充実及び広報 2 地域情報に関するサービスの充実及び広報	
具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館及び分館におけるレファレンスサービスについて、親しみやすい事例や紹介方法を活用して図書館ホームページやX(旧ツイッター)などで広報を行う。 ・行政機関(庁内各部署)へのレファレンスサービスのPRや、公民館イベントとの連携を強化するなど、より効果的な広報を行って、行政支援の充実を図る。 ・職員の資質向上のため、全職員を対象とした研修を行う。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示やホームページ、X(旧ツイッター)等を活用して、浦安に関する地域資料や行政資料のPRを行い、利用を促進する。 ・定点撮影の写真をホームページ等で公開し、地域資料のPRを図る。 ・地域資料や行政資料の積極的な収集を行うとともに、デジタル化事業の検討を行う。 	
担当係	レファレンスサービス係	
関連予算	レファレンスサービス事業	
量的指標 質的指標	<p>【量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス調査回答数1,000件(Eレファレンスを含む:全館合計) ・ホームページやX(旧ツイッター)を活用したレファレンスサービス、及び地域情報のPRの実施(資料展示等も含め毎月1回以上)。 ・国立国会図書館の職員によるレファレンスサービスに関する研修を1回行う。 <p>【質的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答に対する利用者満足度について、9割以上の満足を得る。 	

調査回答数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	年度末見込	達成率
中央館 調査回答	75件	45件	82件	107件	104件	68件	481件	962件	
分館 調査回答	57件	35件	28件	52件	37件	36件	245件	490件	
計	132件	80件	110件	159件	141件	104件	726件	1,452件	145%

満足度調査 *◎(満足)及び○(どちらかといえば満足)の割合

中央図書館 91.6%

分館 88.6%

全館 90.5%

	4～9月	
◎	307件	75.4%
○	66件	16.2%
△	21件	5.2%
×	13件	3.2%
計	407件	100.0%

	4～9月	
◎	161件	65.7%
○	56件	22.9%
△	10件	4.1%
×	18件	7.3%
計	245件	100.0%

	4～9月	
◎	468件	71.8%
○	122件	18.7%
△	31件	4.8%
×	31件	4.8%
計	652件	100.0%

令和5年度
結果
(見込み)

※ 中央図書館では、E-レファレンス分などは調査対象に含まないため、調査回答数の合計とは一致しない。

	4～9月	年度末見込	達成率
図書館ホームページ(“レファレンス担当より”)の更新	6件	12件	100%
「資料展示」、「ミニ展示」実施	10件	20件	167%
X(旧ツイッター)の実施件数	8件	16件	133%

※ 図書館ホームページ“レファレンス担当より”のテーマに連動して毎月「資料展示」を実施。

参考資料

「令和5年度 レファレンスサービス係による情報発信」

参考数値

		令和3年度	令和4年度
調査回答	中央図書館	646件	577件
	分館	338件	363件
	合計	984件	940件

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月1日から9月30日の期間、予約資料の貸出のみのサービスに限定

		令和3年度	令和4年度
満足度調査	◎	57.5%	58.2%
	○	34.5%	32.3%
	△	5.9%	7.3%
	×	2.1%	2.3%

※ ◎(満足) ○(どちらかといえば満足) △(どちらかといえば不満) ×(不満)

<p style="text-align: center;">図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報うらやす」8/1号で、“レファレンスサービス特集”と題して市民に身近に感じられるレファレンス事例を紹介したほか、行政機関(庁内各部署)にも業務に役立つレファレンス事例を紹介するなど、さまざまな方法でレファレンスサービスのPRを行い、サービスの利用増加につなげることができた。 ・公民館イベントに対応した関連資料の紹介を行ったほか、「うらやす市民大学」の講義テーマに合わせたパスファインダー「調べ方案内」を作成して受講生へ配布し、行政支援の充実を図ることができた。 ・新たに受け入れたレファレンス資料の内容については、レファレンス担当者全員で情報共有することで、職員の資質の維持、向上を図った。 ・「浦安」に関する地域資料をテーマにした「浦安クイズ」を作成して展示とPRを行った。年齢を問わず、地域資料を身近なものとして活用してもらうことができた。 ・定点撮影の写真を加工して図書館ホームページで公開し、地域資料のPRを行った。 ・地域資料のデジタル化に向けて、デジタル化の対象となる資料の選定や、近隣自治体の先行事例等の研究を行った。 ・全職員を対象としたレファレンス研修を実施し、職員の資質向上を図ることができた(2月29日実施 45名受講)。
--	---

<p style="text-align: center;">図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回答に対する利用者満足度調査結果によると、◎と○の比率が90%以上で、質的指標達を達成している。レファレンス担当者の適切なる対応を高く評価する。 ・満足度調査で◎○の合計が90%を超えており、十分評価できる。可能であれば、△と×の内容分析ができると改善が図られると思う。 ・レファレンスサービスの課題は、その認知度である。「広報うらやす」でのレファレンス事例の紹介、また行政支援に向けた取組も評価したい。また、「うらやす市民大学」でのパスファインダー作成もよい取組であった。今後も事例を取り入れたわかりやすいPRやパスファインダーの作成をお願いしたい。 ・PRでは具体的な事例を挙げてレファレンスサービスの活用を促してはどうか。 ・行政情報のデジタル化が進んでいる。図書館として、ウェブ上の行政情報のウェブアーカイビングやPDFの収集などを検討してもらいたい。 ・「浦安クイズ」の作成や定点撮影の写真利用の取組は、地域資料のPRに繋がっている。また、地域資料のデジタル化については、研究の段階から実施の段階になることを期待したい。 ・レファレンス室のレイアウトについて、来館者にとって目につきやすい受付場所(例えば図書館の入り口近く)や気軽に入室できるレイアウトの変更・工夫してはどうか。
--	---

<p style="text-align: center;">改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査のうち、△と×については、担当者で内容を分析・共有し、より良い回答を導き出せるよう今後検証していく。 ・レファレンスサービスについては、事例を取り入れたPRや、正確でわかりやすいパスファインダーの作成に引き続き取り組んでいく。 ・地域資料及び行政資料のデジタル化については、対象資料の選定や公開方法等、庁内各部署と連携・協力して準備を進めていく。 ・情報リテラシーサービスの一環として、検索システムの使い方を市民にレクチャーする「図書館利用講座」を毎月開催しているが、より多くの市民を支援できるよう開催内容等を検討していく。 ・今後もレファレンスサービスについて周知するとともに、利用者が気軽に入室できるような工夫を行っていく。
---	--

令和5年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	4	子ども読書活動の推進
------	---	------------

重点課題	1 市立図書館における子どもの読書環境の充実 2 子どもと読書を結びつける他機関との連携
------	---

具体的な取組内容	(課題1) ・館内展示や推薦図書リスト、図書館ホームページ、X(旧ツイッター)で、お薦め本やテーマ別資料の情報発信の充実を図る。 ・読書通帳の利用促進を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の動向に配慮して、各種の集会事業を安全に開催する。 ・職務経験に応じた職員研修を実施し、継続的な人材育成に取り組む。 ・子どもの発達段階に応じた読書環境の整備を進める。 (課題2) ・新型コロナウイルス感染症の動向に配慮して、業務を安全に行う。 ・市立保育園・幼稚園・認定こども園(以下、各園とする)との連携を充実させる(よみきかせ、図書館の利用体験、団体貸出等)。 ・小・中学校との連携を充実させる(よみきかせ、ストーリーテリング、ブックトーク、調べ学習の支援、職業体験、利用案内、団体貸出等)。
----------	---

担当係	児童・地域支援サービス係
-----	--------------

関連予算	児童サービス事業
------	----------

量的指標 質的指標	【量的指標】 ・児童関連集会事業の参加者数 延4,600人 ・資料相談件数 850件 * 児童カウンターでの数値。他は一般と児童の合計数となるため、含まない。 ・読書通帳新規登録件数(小中学生) 400件 【質的指標】 ・子どもの発達段階に応じた読書環境を充実させる。
--------------	--

令和5年度 結果 (見込み)		4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率
	児童関連集会事業の参加者数	2,434人	406人	4,868人	106%
	資料相談件数	529件	88件	1058件	124%
	読書通帳登録件数(小中学校生)	220件	37件	440件	110%
	* 資料相談(資料紹介・調査回答)件数 分館での資料紹介件数は、一般と児童の合計数となるため、含まれていない。 ・子どもの発達段階に応じた読書環境の充実に取り組んだ。 「赤ちゃんといっしょにえほんのじかん」(新規)の開始、「夏休み読書相談会」(新規)の他、定期事業を実施。後期は「図書館のおたのしみ会」(新規)等を予定。 また、外部講師を招いての「子どもの本の講座」は小学4年生から大人までを対象に3年ぶりに実施することができた。				

参考数値		令和4年度
	児童関連集会事業参加者(全館)	延4,517人
	資料相談件数(中央館児童カウンターで受けた資料紹介と調査回答)1*	845件
	読書通帳新規登録件数 3月末現在	355件(小中学生)
	市内小中学校児童生徒数 5月1日現在	12,145人

1* 分館での資料相談件数は、一般と児童の合計数となるため含まれていない。

≪市内小中学校児童生徒数≫

・令和5年度 11,898人 令和4年度 12,145人 令和3年度 12,398人 令和2年度 12,813人

図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・お薦めの絵本やテーマ別資料の紹介を月ごとに行った。 ・児童向け推せん図書リストを作成し、館内及び学校図書館で配布したほか、図書館ホームページで公開した。 ・「読書通帳新一年生プレゼント企画」を行い、利用促進を図った。登録件数については、SNS等による広報や、学校でのよみきかせ時に周知を図ったことにより、目標を達成する見込みである。 ・集会事業については、定員の設定や事前受付の実施など、参加者の安全への配慮を継続し開催した。定期に行う事業のほか、夏休み等に実施した子ども向けの事業や、新規に乳幼児向けの行事を行ったことにより、目標の参加者数を達成する見込みである。 ・園・学校でのよみきかせやストーリーテリング、ブックトークのほか、職業体験の受入れ、利用案内や団体貸出を実施し、多くの子どもたちに直接サービスを届けることができた。 ・子どもや大人からの児童書に関する資料相談に対応した。夏休みの自由研究、よみきかせの相談、年齢別のおすすめの本の紹介等の問い合わせが特に多くみられた。 ・指導課主催の市内小中学校司書の研修会に参加した。 ・職業体験の受入れ、個々の学校への調べ学習の支援等を行ったほか、読書通帳の案内ポスターの掲示依頼、各行事の案内ポスターの掲示依頼を行い、小・中学校と連携を図った。 ・職員の経験等を考慮し、児童研修計画を立て、ストーリーテリング等の研修を定期的に行ったほか、千葉県や国立国会図書館等外部で開催される研修へ参加し、児童サービスの人材育成に取り組んだ。
---------------------	---

図書館協議会 委員欄	<ul style="list-style-type: none"> ・各種結果の達成状況や取組内容から、子どもの読書活動について充実した活動をしていることが分かった。 ・子どもの読書習慣に尽力される様々な取り組みがされていると思う。家庭だと養育者の読書環境に左右されるところが多いと思われるので、保育園、幼稚園、小学校等への働きかけが望ましい。 ・園、学校への働きかけや職場体験の受け入れなど、子どもの読書活動の推進に対して大変ありがたく感じる。本を手に取り、色を感じ、めくる楽しさを体験する場の確保を継続的にお願いしたい。 ・生成AIが話題になる中で、考える力を培う読書の重要性は益々高まっている。関連部局と連携をしながら「子ども読書活動」の推進に努めてもらいたい。 ・読書通帳がPRにより目標達成できる見込みとなり、来年度はさらに目標値を上げて取り組んでいただきたい。 ・推薦図書については、書架においても図書館員のおすすめの本であることが子ども達にわかる仕掛けになっているとよい。また、單元ごとに国語の教科書で薦める本を書架で見つけられると手取りやすくなるかと思う。
-----------------------	---

**改善の
方向性**

- ・今後も子どもが本に親しみ、読書へとつながる事業を継続して実施し、子どもの読書活動を推進していく。
- ・すべての子どもたちに対して、園・学校、図書館を通して、読書支援となるさまざまな働きかけを継続していく。
- ・園・学校との連携を継続し、子どもに本を手渡せる読書支援の機会を設け、子どもたちに本の楽しさを伝えていく。
- ・子どもの考える力を育めるように、資料相談や調べものの対応を行っていく。
- ・読書通帳の利用をきっかけに、子どもが読書に親しむ機会となっていることから、子どもの読書活動を推進するため、引き続き読書通帳の利用を促進する事業に取り組んでいく。
- ・児童フロアの展示スペースや書架を利用して推薦図書の展示を行うことに加え、書架の中でおすすめの本がわかるような方法について検討する。